

多職種の心をつなぐ



EOL ケア

～人生の終い支度を支える～

「一度しかない人生をしっかりと生きて、人生をどう締めくくるの？」人を支える仕事に携わる私達は、その想いを普段から当事者の方や家族の方と共有する必要があります。今回は救急と入院に頼らない看取りを行った事例を通して、EOLにおける多職種の連携の在り方を考えていきたいと思えます。テーマにご興味のある方、どなたでもご参加下さい。

日時：平成29年10月13日（金）19時～21時

場所：東宇治地域福祉センター 2階 研修室

コーディネイター：北野 太郎氏（京都府介護支援専門員会 理事）

事例報告者：松井 亜矢子氏（訪問看護ステーション とくら）

参加費：500円（会員は無料）

～エンドオブライフ・ケア（EOL）とは～

診断名、健康状態、年齢に関わらず、差し迫った死、あるいはいつかは来る死について考える人が、生が終わる時まで最善の生を生きることができるよう支援すること

参加申し込み書 ※下記に記載いただき、そのまま FAX して下さい。

宇治市福祉サービス公社中宇治事業所 阪東宛（FAX 0774-28-3190）

事業所名

FAX

参加者氏名

	会員・非会員		会員・非会員
	会員・非会員		会員・非会員

資料作成の関係上、お申込みいただいておりますが、突然の参加も歓迎いたします。